



sawai 沢井製薬株式会社

Sawai Pharmaceutical Co., Ltd.

〒820-0073 福岡県飯塚市平恒1144-3

ホームページアドレス▶ <https://www.sawai.co.jp>

施設概要

敷地面積：60,410㎡(第二九州工場全体)
延床面積：30,597㎡(建設工事後の新固形剤棟)
階数：地上7階
構造：鉄骨造
生産能力：20億錠



「これまでの取引実績、環境面、
15年間という長期サポートが採用の決め手です」

＼ 九電に決めた ＼

3つのポイント

- ① 15年間の長期サポート
- ② LNGの安定供給
- ③ 既存棟での取引実績

昨今のジェネリック医薬品に対する需要の高まりを受け、新固形剤棟が竣工したのは2024年7月(製品出荷は同年12月)。エネルギーサービスの導入に当たって重視したポイントはどこだったのでしょうか。

「自社保有とエネルギーサービスという形で比較した結果、九電グループの15年間という長期のサービス期間と、その間のランニングコストが抑えられるという点が決め手になりました。」

CO₂削減のために LNG導入を決定

既存棟では蒸気ボイラーの燃料として灯油を使用していたそうですが、LNGの採用には不安はなかったのでしょうか。

「初めての採用ということで、もちろん不安はありました。我々は医薬品を製造しているので、設備の稼働を止めたくない。環境への配慮も欠かせない。そのような中、既存棟ですすでお付き合いのあった九電グループに供給と保守管理を任せられる安心感が、不安を解消する大きな要因になりました。」

日々のアドバイスや トラブル時の対応力も◎

「定期的な管理は九電グループにお願いしていますが、日常点検については建設段階からオペレーショントレーニングを受け、日々アドバイスをいただいているため、我々だけで問題なく行えています。また、トラブルなどが発生した場合、すぐに対応していただける点は、社内決裁や業者の手配に手間がかかる自社設備とは違い、とても助かっています。」



(左から) 濱野チーフ、金田マネージャー、 京木工場長

ジェネリック医薬品の製造に集中するために エネルギー供給に関する不安(コスト・省エネ・管理)を払拭します。



空冷モジュールチラー

複数台導入し、負荷に応じて最適な組み合わせで運用することで、高効率を実現しエネルギー消費を抑えることができます。
また、1台故障しても他のモジュールが稼働できるため、冷温水の供給停止を防ぐことができます。



LNGサテライト

工場で使用するLNGは、九電グループが使用量に応じて供給量や時期を調整し、安定供給しています。



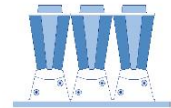
小型貫流蒸気ボイラー

起動の早い貫流ボイラーを複数台設置することで、湿度管理に欠かせない蒸気を、必要なタイミングで供給できます。

エネルギーサービス設備概要

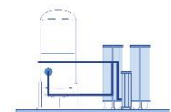
■ 空冷モジュールチラー

冷水モジュールチラー180kW×33台
温水モジュールチラー150kW×13台
冷温水モジュールチラー180kW/150kW×14台



■ LNGサテライト

貯槽60kL×2基
温水式気化器1,000kg/h×2基

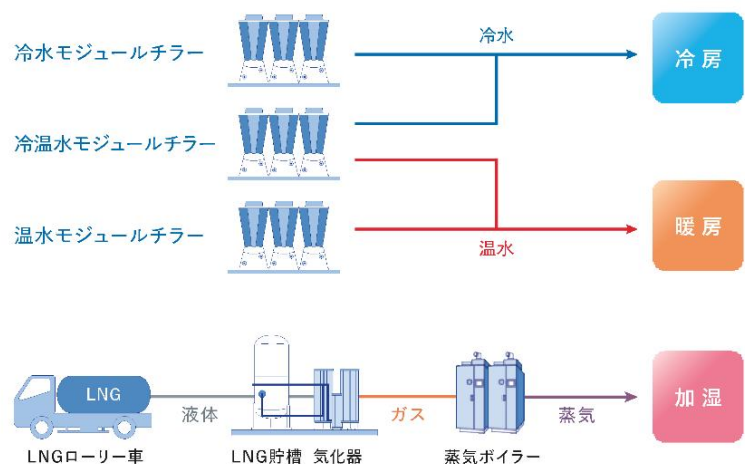


■ 小型貫流蒸気ボイラー

相当蒸発量3t/h×6台
(蒸気圧力0.8MPa)



設備系統図



記者の目



ジェネリック医薬品といえば沢井製薬と言っても過言ではないが、その安定稼働を支えているのが九電のエネルギーサービスです。モジュール設備を多重化することによってリスク分散を図っているだけでなく、トラブル発生時には連絡すればすぐに駆けつけてくれる安心感、そして何よりその状態が15年間続くことのメリットは計り知れないと感じました。

お問い合わせ



インターネットからのお問い合わせはこちら
ご相談・お見積もりは無料です



ウェブサイト
はこちら



九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

発行/2026年3月